

茂原市音楽協会だより

茂原市音楽協会は今年度で設立30周年を迎えることができました。

第1号

2014年11月1日発行日

目次

もばら若い芽のコンサート	2
茂原市文化祭「音楽の広場」	2
茂原市立美術館コンサート	2
歌声喫茶 新宿ともしび出前コンサート	3
もばら音楽祭	3
こどものためのわくわくコンサート	3
第29回もばら音楽祭	4

ごあいさつ



みなさん、こんにちは。茂原市音楽協会会長の大柿恵司と申します。

日頃は温かいご支援を賜りまして、誠にありがとうございます。

ございます。

当協会は茂原市を「音楽を通じて、文化の香り高く心豊かで住みやすいまちにしたい」という思いを持って30年間、市民ボランティア活動として続けてまいりました。

これからも、赤ちゃんから高齢者までお楽しみいただけますよう、多彩な音楽会を企画しお届けしてまいりたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

今回は初めての機関紙発行になりますので、記念すべき第1号は、私どもの活動内容を改めまして市民の皆様にご理解いただきたいと思います、そのような編集といたしました。

ご興味を持たれた音楽会がございましたら、是非、お出かけください。お待ちしております。

なお、当協会の会員になって音楽会の企画や運営に携わりたいと思われた方には、奮ってご連絡ください。一緒に活動を盛り上げ、茂原市を、住んで良かったと思えるまちにしていきたいと思います。

茂原市音楽協会 会長 大柿恵司
電話：080-4113-9494



市役所ロビーコンサートで文化の香り高い茂原を発信

「本格的な音楽ホールまで出掛けなくても、普段着感覚で気軽に音楽に触れ合えて楽しめるコンサートを」というコンセプトで生まれたミニ・コンサートです。もちろん入場は無料です。

年に3回ほど市役所のお昼休み時間、1階ロビーを会場にして12時5分から12時55分までの50分間、お楽しみいただいています。出演者は茂原・長生地域にゆかりのあるプロの音楽家。50分間とはいえ、質の高い演奏をお楽しみいただけますので、大変好評をいただいております。

ご用があって市役所を訪れる方のほか、今ではこのコンサートを心待ちにしてくださる方も大勢いらっしゃいます。一度お出かけになってみてはいかがでしょうか。

次回、第36回めのロビー・コンサートは11月26日（水）の開催になります。茂原市出身のソプラノ歌手、鳥海仁子さんに歌っていただきます。とってもお上手ですよ。



(担当：岩田 0475-22-3809)

※ 茂原市役所1階にあるレストラン「アゼリア」はどなたでも利用することができますので、どうぞご利用ください。

地元出身の音楽家を育てたいので「もばら若い芽のコンサート」



若い芽のコンサートは、地元出身のこれからプロとして演奏活動を始めようとする若い音楽家に、地元デビューの機会をお作りして差し上げようとするものです。

毎年5月の第三日曜日に開催。出演の対象者は、長生・夷隅・山武郡市に在住または出身の方としており、音大、音短大を卒業の方、あるいは音大以外でも、同等の実力があってプロの演奏家を目指す方としています。

未来への飛翔の足掛かりとしていただきたい、地域の音楽文化を担う人材を育てたいと、これまで18回続けてきました。

ご出演の皆様には、その後、各地でご活躍いただいています。是非、若い音楽家を応援してあげてください。

(担当：比留川 090-9204-1950)



聴き応えありますよ。



茂原市文化祭「音楽の広場」にご出演いかがですか

茂原市文化祭『音楽の広場』では、市民の皆様にごごろの練習成果を披露していただいています。

独唱やコーラスを始め、管・弦楽器、ピアノ、マリンバ、オカリナ、ハーモニカ、マンドリン、ギター、アコーディオン、リコーダー、パーカッション、和楽器、民族楽器などなど、どのような楽器、どのような組み合わせの演奏スタイルでも出演できます。まだご出演いただけない方には是非ともチャレンジしていただきたいと思います。

なお、演奏のジャンルはクラシック。またはこれに準じる楽曲及び編曲されたものとしています。プロの方もご出演できます。

音楽表現の可能性を広げる試みとして、舞踊や朗読、演劇などとのコラボレーションも大歓迎です。詳しいことはネットから出演者募集要項をご覧ください。毎年11月、東部台文化会館での開催になります。

(担当：大柿 080-4113-9494)

とっても欲張りな「美術館コンサート」



茂原市立美術館ロビー・コンサートは、平成22年度から年に一度開催しています。翌23年度からは茂原市茶道協会様にもご一緒していただき、同日「萩の茶席」を催していただいています。

この日、茂原市立美術館に足を運べば、一日で三つの楽しみ、美術鑑賞、コンサート、茶道体験により、素敵で心豊かな時間を味わうことができます。リッチな気分になれますよ。

5回目の今年度は11月15日(土)の開催。神明弘奈さんによるフルートとオカリナの演奏をお楽しみいただきます。ピアノ伴奏は片岡久美子さんです。

また美術館では11月15日(土)からの美術収蔵品展「郷土ゆかりの作家展」、及び「速水御舟と周辺作家展」をご鑑賞いただけます。皆様のお越しを心よりお待ちしております。

(担当：竹本 0475-24-8755)

青春しましろう「歌声喫茶“新宿ともしび”出前コンサート」で

一緒に歌いませんか。

日本を代表する歌声喫茶の老舗「新宿ともしび」から歌のリーダーお二人と専属の伴奏者をお迎えして毎年、茂原市役所市民室で開催しています。

なつかしい歌から最近の歌まで、会場にお越しの皆様からリクエストをいただきながら、まるで同窓会のような雰囲気の中で楽しく歌っていただいています。

第5回の今年は12月14日（日）の開催。入場料はお茶とお菓子がついて2,000円です。チケットは東部台文化会館または市役所9階の生涯学習課でお求めください。

おひとりでも楽しい時間を過ごすことができますので、どうぞお出かけください。



(担当：佐藤 090-5572-5062 森川 080-5504-2644)

「もばら音楽祭」でリッチな気分を楽しんでください

音楽協会設立後、最初の行事がもばら音楽祭でした。以来、毎年続けて開催し、今年度で29回目を迎えます。

中でも1992年、市制40周年記念の音楽祭では外房で初めて「第九演奏会」に挑戦。茂原交響楽団と250名の市民合唱団さらに独唱者も地元出身の声楽家によるもので、当日は会場の市民体育館いっぱいのお客様にお喜びをいただきました。

市制45周年ではオペラ「ハンゼルとグレーテル」、50周年ではオペラ「魔笛」を、そして55周年ではミュージカル「メリーポピンズ」を“市民参加型”により上演しました。一昨年度の市制60周年では

地元吹奏楽団「長生ウインドアンサンブル」と地元プロ演奏家によるコラボ音楽会を茂原市民会館で開催しました。

また通常年には有名アーティストを招いての演奏会を企画しています。ピアノの清水和音さん、ヴァイオリンの千住真理子さん、大谷康子さん、ソプラノの鮫島有美子さん等、多くの皆様が素晴らしい演奏を聴かせてくださいました。

今後ますます上質な音楽会を企画してまいりますので、よろしく願います。

(担当：舘 090-9830-0584)



「こどものためのわくわくコンサート」は大人もわくわく

胎児から赤ちゃん、そして小学生まで、音楽の楽しさを味わってもらおうと、4年前から始めたコンサートです。

子育てしやすい茂原市のまちづくりを応援しています。

このコンサートを、子育て中の皆様と一緒に素敵なコンサートに育てていくことができたらと考えておりますので、来年は是非、実行委員に加わっていただけたらありがたいと思います。

(担当：岡澤 090-3313-7312)



茂原市音楽協会では会員を募集しています。



コンサートの企画や運営をご一緒にやりませんか。

コンサートの折に、音楽協会のスタッフに、お気軽にお声かけください。

茂原市音楽協会

音楽振興を通じて文化の香り
高いまちづくりを進めます。

◆ 茂原市音楽協会 事務局 ◆

〒297-0037 茂原市早野2531-4

電話：080-4113-9494

FAX：0475-23-9499

●フェイスブックもご覧ください。
最新のコンサート情報をお届けして
います。

⇒「茂原市音楽協会」で検索！
<https://www.facebook.com/mobara.ongaku>



ただ今、第29回 もばら音楽祭の
実行委員を募集しています。併せて
茂原市音楽協会の会員も募集中です
ので、ご遠慮なくお問い合わせくだ
さい。

担当：舘 090-9830-0584

黒鷲原(つづらはら)
0475-23-7176

第29回 もばら音楽祭

第29回目のもばら音楽祭を下記により開催します。

今回は珍しくお話の時間を長くとりました。思い出に残る音楽会に
なるものと思っていますので、どうぞお楽しみにお待ちしております。

ハープの演奏とお話

日 時：平成27年3月14日（土）午後2時開演

開 場：茂原市東部台文化会館

入場料：2,500円

出 演：ハープ 大竹香織 お話 桐島洋子

《大竹香織プロフィール》



愛知県生まれ。5歳よりハープを始め、カナダバンクーバー音楽学校、ビクトリア音楽学校を経てタカクリン氏に師事。カーティス音楽院（マリリン・コストロ氏）、ジュリアード音楽院（ナンシー・アレン氏）、インディアナ大学（スーザン・マクドナルド氏）卒。

フランスのニースにてマダム・フォンタン・ピノシェ氏にフランス文化とハープ音楽を師事。現在ワールドハープコングレス理事、キャピラノ大学にて教鞭をとっている。

日本ハープコンクールヤング部門、アドバンス部門、プロフェッショナル部門全部門で優勝。

USA国際ハープコンクールにて母校カーティスの故マリリン・コストロ賞受賞。インディアナ大学、ヒナステラコンチェルトにて優勝。

《桐島洋子プロフィール》



1937年7月6日、東京生まれ。

56年都立駒場高校を卒業して、文藝春秋に入社し、9年間ジャーナリズム修行ののち、65年退社し、フリー・ライターとして世界を巡遊。67年には従軍記者になり、ベトナム戦争を体験する。

68年からアメリカで暮らし、70年処女作「渚と濡と舵—ふうてんママの手紙」刊行を機に帰国。72年には、アメリカ社会の深層を抉る衝撃の文明論「淋しいアメリカ人」で第3回大宅壮一ノンフィクション賞を受賞。

料理ブームのさきがけとなったベストセラー「聡明な女は料理がうまい」や、女性の自立と成熟を促した「女ざかり」シリーズをはじめ、すべて実体験に基づく育児論、女性論、旅行記などは、その斬新な発想と痛快な迫力で広く人気を集めた。

人生の成熟の秋を穏やかに愉しみ、環境問題・ホリスティック医療・氣功・精神世界などにも関心も深めている。